

ベビーウィンドウ – 優秀な仕事による受け入れ

ドミニク ミュグラー (スイス母子救済財団 理事長)

スイスでもっとも有名な窓といえば「ベビーウィンドウ」(Baby Box のスイス版)です。ベビーウィンドウほど話題に上がったり報道されたりした窓はスイスにはありません。世論調査によると、スイスの人口の92%がベビーウィンドウに賛成しています。ベビーウィンドウプロジェクトの優秀な仕事とベビーウィンドウがその使命(命を救い子供が捨てられるのを防ぐ)を果しているおかげで、政府は近年、当初の否定的な態度を捨てました。

最初のベビーウィンドウは2001年にアインジーデルン(Einsiedeln)に設置されました。その直前に死んだ赤ちゃんがそこで見つかったのです。凍死でした。人々はショックを受けました。SAMC財団のベビーウィンドウを設置しようという動きはまさに時機を得たものでした。2012年以降さらに多くのベビーウィンドウが設置されています。今日では計8個のベビーウィンドウがあり、これまでに21人の健康な赤ちゃんが預けられました。考えられる最高の質を保証するために5つのガイドラインが定められました。

1. 質の良い病院の最適な場所だけを使う

病院は、産科病棟または子供病院の一部として新生児専門の部署を持たなければなりません。

2. 全てのベビーウィンドウは3つの機関の協力のもと成り立っている

この3つの機関とは病院、児童保護サービス(青少年福祉室)およびSAMC財団。病院は最初の医療処置を施し、官庁は両親に代わり責任を引き受け、SAMC財団は赤ちゃんを手放したあと現れ、アドバイスやサポート、援助を必要としている母親を支援します。

3. 標準化された医療検査とプロのコミュニケーションを使わなければならない

ベビーウィンドウを持つ全ての病院において行われる最初の医療処置は統一されたものでなければならず、またプロのコミュニケーションプランを用いなければなりません。

4. ベビーウィンドウは最良のアラームを持ち、その点検は頻繁に行わなければならない。

病院には定期的にベビーウィンドウをテストし、通信の記録を保管する義務があります。SAMC財団は定期検査を行い、最良の技術が利用されていることを保証します。

5. 世論を紹介するために継続的に3つの統計をとる

- 遺棄された、殺害された、またはベビーウィンドウに預けられた赤ちゃんの数に関する統計
- 3年ごとのベビーウィンドウの受け入れ度合いの調査
- 赤ちゃんを手放した後連絡してくる母親に関する統計

スイスでは驚くような話が繰り返し起こっています。一人の女性がかつて秘密裏に産んだ自分の赤ちゃんを殺しライン川に捨てました。ほぼ同じ時期に、別の女性がベビーウィンドウに赤ちゃんを預けましたが、これもまた秘密裏に産んだ赤ちゃんでした。20人の犯罪委員会が設立され、最初の女性を15年間探しています。もう一人の女性は病院へ戻り、もう一度彼女の赤ちゃんを抱くことができ、養子縁組することを選択しました。このようなケースは、ベビーウィンドウは逼迫した緊急事態のために必要な人道的な施設であることを示しています。

いくつかの素晴らしい仕事やベビーウィンドウの成功により、スイス政府はベビーウィンドウに対するスタンスを逆転させ、はじめは否定的だったものの賛同するようになりました。2016年10月の政府の声明は次のようなものでした—ベビーウィンドウは子供たちの命を救う。そして、個人の権利で言えば子供の命は最上位に位置する。